

今年 は 5 組

88歳到達夫婦が米寿顕彰

夫婦がそろって88歳を迎えた町内の5夫婦に対して、県知事から顕彰状が届き、町長が10月10日(木)に伝達しました。

これは県のシニアフェスティバルで顕彰されたもので、今年度受けたのは、長利勘作・ユミさん夫妻(派立上)、田中兼義・春榮さん夫妻(大沢内)、野上登・キクヨさん夫妻(下高根)、久保田市太郎・文枝さん夫妻(入舟)、柏崎留藏・ツヨさん夫妻(下前中)の5組。

柏崎さん夫婦はカメラの前にならぶと照れながら「うれしい、ありがたいね」と喜んでいました。



長利勘作・ユミさん夫妻(派立上)



田中兼義・春榮さん夫妻(大沢内)



野上登さん(下高根)



久保田市太郎・文枝さん夫妻(入舟)



柏崎留藏・ツヨさん夫妻(下前中)

活動意欲の向上を

シルバーの日



10月はシルバー人材センター事業の普及啓発促進月間であり、町では活動意欲を高めるべく、約130人が10月16日(水)に中央公民館へ集まりました。

この日は中里幼稚園の園児による鼓笛演奏や、元県警職員の小向千鶴子氏による講演会が行われました。「笑いと健康」と題した講演では、ストックを使ったノルディック・ウォークの実演や、簡単にできる認知症予防法などが紹介されました。軽快な語り口で進められる話に、会場からは何度も拍手や笑いがおこっていました。

参加した町民は、「小向氏の話聞くのは3回目だが、今日も良かった。ノルディック・ウォークは、仲間の間に広がってほしいと思う」と話していました。

地元食材を使って商品開発

中里高校生
まちづくり塾



完成しました

生地を焼く塾生たち

中里高校生徒が参加する高校生まちづくり塾で、地元食材を使っての商品開発を体験しました。

10月8日(火)に同高校の調理室に集まり、美術部がデザインした銅の型を使ってオリジナルお焼きの試作品を作りました。

お焼きの型は、地元特産品でもあるブルーベリーやイカがモデルになっており、そこへ米粉をベースにした生地を流し込んで焼きあげました。さらに見た目にもこだわり、目や口などをトッピングしてかわいらしく仕上げました。

参加した生徒は「焼き加減の調整が難しかった。材料の配合でも焼き方が変わるのでもまだ研究が必要だ」と話していました。

また、町民文化祭では小泊・中里両会場にも出店し、販売体験することになっています。

災害に備える

応急対応業務の協定

地震や風水害等による災害が発生した場合、またはその恐れのある場合には、災害対策本部などが設置されます。町ではその際の応急対策の業務について、町建設業協会との間に協定を締結しました。

先日の台風26号の影響として伊豆大島では、大規模な土石流が発生し、多くの犠牲者が出ました。この協定の締結により早期の段階で災害を軽減し、さらには2次・3次災害を防ぐことが期待されます。

調印に出席した町建設業協会の平山久宗会長は「協会としても災害時に早期に対応できるよう日頃から準備していきたい」と話していました。

